

事業所あれこれ

第18回 みさと北地区医療・福祉活動交流集会 発表

2月3日(土)に開催されました『第18回 みさと北地区医療・福祉活動交流集会』にて、当事業所『障がい者グループホームこかげ(以下こかげ)』の開設から現在までの活動報告をさせていただきました。

こかげは、主に精神疾患の方を対象にしたグループホームで、令和5年2月9日に開設されました。皆様のおかげで開設から1年を迎える時期で活動報告をする機会をいただけて、大変感謝しております。今回の報告でこれまでの振り返りや今後の展望について皆様のご意見がきけて大変勉強になりました。

こかげは、ルールや規則を設けず入居者一人ひとりのライフスタイルに合わせて支援しております。

また、地域との交流も積極的に行っており、畑仕事のお手伝いや月1回の定例会など開催しており、外向きの活動を大切にしています。地域に必要とされる事業所を目指し、運営しています。

勉強会では、実際に起こったトラブルなどの事例検討を行ったり、「ジェンダーについて」などの時事的な社会問題についても議題にしています。現在は、地域密着の支援体制を『三郷ローカル(仮)』と称して、当事者・家族・他事業所とGHの見学会を企画したりと活動しています。

本交流集会の『地域での認知症の人との共生社会の実現を』というテーマとも一致しており、共生社会の実現にむけてより地域に足を運び、当事者・ご家族と共に歩むことがこかげの役割であると実感しました。

他事業所の発表では、普段お世話になっている訪問看護ステーションさんなど活動報告を拝聴させていただき、医療や介護・福祉など分野は違えど一丸となって三郷地域を盛り上げていきたいと思いました。

こかげは、本年で2年目を迎えましたが、当事者・家族・地域の声に耳を傾け、地域で必要とされる場所となることを目指し精進していきたいと思っております。

<障がい者グループホームこかげ 大泉 卓也>



『暑く、熱い!』



全日本民主医療機関連合会第46回定期総会@那覇

寒い雨の流山を午前10時に出発、飛行機の遅延などもあり、温かい沖縄空港に着いたのは夜7時。タクシーでホテルに向かう中、運転手さんからの現地情報。「水不足、物価高、年金じゃ暮らせないから、おばあたちは公園に行ってみずくんでよー。」「野球のキャンプいっぱい来てるよー。サッカー選手より野球選手の方が稼げるよー。」・・・話しているうちにホテルにつきました(私の泊まったホテルの前の豪華なホテルが巨人の宿泊所だそうです)。

翌日の2月22日から3日、那覇市内の様々なホテルを会場として全日本民医連総会が開催されました。初日の那覇は最高気温が27度、朝、会場まで迷いながら汗だくで30分歩きました。会場には600人以上が一堂に会

し、総会スローガン、運動方針案、決算案、監査報告、予算案が提起されました。会場発言も 20 以上に及び、全国での熱い取り組みが報告されました。

石川「被災して 4 日目にもおにぎり一人 1 つ、診療所の再開、介護問題、福祉避難所のこと」、沖縄「学校施設上空を進路とする米軍、米軍による水の汚染」、福島「3.11 から 13 年目 ALPS 処理水問題、次の原発事故の防止、原発の中止」、大阪「水質汚染で 1000 人規模の PFAS 疫学調査」、東京立川「報酬改定で急性期医療が危うい」、埼玉「川口クルド人 1 万人以上と医療」、東京「乳腺外科医裁判の支援とケアマネ報酬改悪について」、群馬「経営困難に立ち向かう。『内政不干涉』で悪化した過去、県連の役割」などなど・・・

2 日目は 13 の分散会に分かれ、発言や意見が取り交わされました。私もアカシア会の発言として、医療介護福祉がそれぞれに地域の要求を通じて市民とつながっているアカシア会の活動と、優生保護法裁判の訴え、国連の障害者権利条約に沿った運動・活動の方向性について報告・発言をしました。

そして 3 日目、それらを集約しスローガンや運動方針案などが決定されました。昨年、民医連は、「旧優生保護法下における強制不妊手術問題に対する見解」で、民医連としての関与、反省、乗り越えるべき課題などを明らかにし、当事者とのつながりを作っていく事を確認しています。今回、議論の末、大会スローガンに「多様性」の観点が追加されたことは特筆すべき出来事でした。



定期総会と那覇の風景
モノレールに乗りました



年度末が差し迫る中、日々の忙しさで近視眼的(目先の事ばかりに囚われて、将来や大局を洞察する力に能力が欠如していること)になりがちでしたが、総会 3 日間を通じて、全国の民医連の活動を聞き、「誰のために、何のために」に立ち返れる良い機会を頂けましたこと、ありがたく、法人に感謝いたします。

<就労移行支援事業所ラ・ポルタみさと中央 加藤 明子>



< time ~私の楽しみ~ >



「毎度ばかばかしいお笑いを一席」で始まる落語を、手話付きでやる手話落語研究会「笑草会」メンバー道楽亭遊坊(水野守久)。ラ・ポルタの創立日に披露。人生なんかよくよしてもしょうがない、笑いのない生活も考えられない。大いに笑えば、がんやウイルス細胞をやっつけるキラー細胞が生まれる。“笑える毎日”そのためには”笑い”のネタ探し、それがまた楽しい！

笑草会 手話落語研究会 <https://syousoukai.1net.jp/>

(履歴)

昭和 62 年三郷市の手話奉仕員養成講座終了後みさと手話サークル「シードラゴン」を設立、現在に至る。

今も毎週金曜日の夜サークル活動で活躍中。

平成 5 年に手話落語研究会「笑草会」に所属、全国を駆け巡る。

<就労移行支援事業所 ラ・ポルタ 水野守久>

とっても いい話

アロマセラピーは 人々を笑顔にしてくれます

がんカフェでは、隔月でカフェの前にアロマセラピー講座を開いています。講師でアロマセラピーを勉強中の小沢看護師に聞きました。

今までに精油を用いて、手ごね石鹸、クリーム、手指消毒スプレーを作ったり、2月はハンドトリートメントを行いました。二人で向かい合って香りを楽しみながら腕や手、指をなでるようなタッチで行います。施術している人の手の動きを見ているだけでも気持ちよさが伝わってきますし、受けている方は「気持ちがいいー」と話していました。毎回10名前後の方々が参加して、カフェの前に雑談しながらアロマセラピーの奥深さを学んでいます。



現在知られている精油は1500種類もありますが、日常的に使われているのは100種類だそうです。同じ植物でも、ワインのブドウのように地域やその時の気候によっても出来栄が変わります。嗅ぐことで脳に直接作用する精油の香りを楽しんではいかがでしょうか。

訪問看護の利用者さんにも了承を得て、短時間ではありますが好きな香りを用いて足のトリートメントなどを行っています。

＜アカシア訪問看護ステーション 小沢 亜紀子＞

とっておきの一枚



“春が来た”



← きれいな菜の花と一緒にラ・ポルタの仲間で写真を撮りました♪
就労に向けて日々訓練を頑張っています。新しい仲間も募集しています！
就労移行支援事業所ラ・ポルタ

→ お休みの日に、息子と土手まで菜の花を見に行きました！
やんちゃな(笑)息子は保育園を卒園して春から一年生に 小学校も楽しんでほしいです♪
ラ・ポルタ 久留生 静季





春になると庭の片隅に必ず咲いてくれます。
丁度咲き始めたのでパチリと撮りました。
花の名前はエリシマムで、花言葉は「永遠の美」です。

相談支援センターパティオ 長島喜一



早稲田周辺には、ソフトクリームのような白木蓮があちこちで見かけられます。春を感じる早稲田です。
コブシと木蓮の違いを調べてみてくださいね。

アカシア訪問看護 St. 川上貴子

《法人の動向》 障がい者福祉団体支援チャリティーコンサート

日時:4月20日(土曜日) 午後1時開演

会場:三郷市文化会館大ホール

プログラム:合唱、ヘルマンハーブ、フラダンス、和太鼓

:演奏 (ピアノ、アコーディオン、ギター)



昨年コンサートから

＜今回の新企画＞

アート(創作芸術作品)展示

ホールの入口前のスペースをホワイエと言います。

市内の障がい者の方々が様々な作品を創作しています。それらの作品をホワイエに展示します。

展示コーナーを「art brut」(アール・ブリュット)とします。フランス語で「生きの芸術」という意味です。

コンサートとアートで、あなたの心が豊かになっていただければと思います。

【編集あれや これや】

2024年(令和6年)もあつという間に3月の後半にさしかかりました。元旦に起きた能登半島を中心とした大震災。多くの方々の支援があっても国としての支援の遅さは目に余ります。お題目のように繰り返される「説明責任」は空虚でしかない自民党の巨額の裏金問題。丁度この時期確定申告があり、正直者は馬鹿を見られると思われた方も多くいたのではないのでしょうか。こんなことは許されません。

そんな中でも、今回もアカシア通信で発信した取り組みは私たちの実践が確実に前進していることを示しています。4月20日のチャリティーコンサートに多くも皆さんが足を運んでくれることを願っています。(N)